

ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。

ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。

- ご使用の前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
- 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
- 本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

- 本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 本書の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。
- 本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
- 本書では®™は明記していません。
- 本書の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。予めご了承ください。

株式会社プリンストン

2024 年 11 月 初版
Copyright © 2024 Princeton Ltd.

目次

同梱品	1	左 [Windows] キーをロック／解除する	4
仕 様	1	[FN] キー／ [PN] キーについて	4
使用上の健康と安全に関するご注意	2	[FN] / [PN] キーの位置を変更する (リマップ)	4
本製品で使用する電波について	2	DIP スイッチについて	5
使用上のご注意	2	マクロ機能／レイヤーの切り替えについて	5
安全上のご注意	2	RGB バックライトについて	6
キーボードに関するご注意	3	リセット／工場出荷時の状態に戻す	6
印字通りに正しく入力できない？ (キーボードの配列設定)	3	ファームウェアの更新について	7
キーボードの準備 (USB モード)	3	製品保証に関して	7
キーボードの準備 (Bluetooth モード)	3	困った時は？	7
LED の動作について	3	テクニカルサポート	7

同梱品

本製品のパッケージの内容は、次の通りです。

お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

キーボード本体	1
USB ケーブル (USB-A ⇄ USB-C / ケーブル長 : 約 1.8m)	1
USB ケーブル (片側 L 字 USB-C ⇄ USB-C / ケーブル長 : 30cm)	1
キーボードバッグ	1

仕 様

商品名	AIRONE BT
接続方法	有線 USB / 無線 Bluetooth
キー配列	英語 US 配列
キー数	68 キー
キーキャップ	ABS
キー印字	レーザー刻印 + UV コーティング
キースイッチ	Cheery MX ULP
バックライト	RGB
ホットスワップ	×
マクロ機能	○
ポーリングレート	USB : 1,000Hz / Bluetooth : 125Hz
N キーロールオーバー ※1	○
メディアキー	○
電源	USB バスパワー、内蔵リチウムポリマー電池
本体サイズ	W 308.1mm × D 99.6mm × H 14.6mm
重量	約 305g

※ 1 : Bluetooth 接続時は 6 キーロールオーバーになります。

■ 対応 OS (2024 年 11 月現在 ※)

Windows 11 / 10、macOS

※ macOS は Sequoia にて動作確認済み。

※ OS のアップデートやハードウェアの仕様変更により対応できかねる場合がございます。予めご了承ください。

■ 動作環境に関するご注意

- 本製品はホットプラグ対応製品ですが、OS 起動中に抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合がございますのでご注意ください。
- KVM スイッチ (CPU 切替機) や USB ハブを併用した環境での動作は保証しておりません。
- USB2.0 もしくは USB1.1 ポートへの接続を推奨します。
- USB3.0 ポートでのご使用は、BIOS の設定変更が必要な場合があります。
- セットアップの際は、管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

使用上の健康と安全に関するご注意

- ・長時間のご使用は身体への負担が大きく、場合によってはお身体に違和感（痛みや痺れ、筋肉異常など）が生じる可能性があります。お身体に違和感を感じる前に休息を確保してください。
- ・お身体に違和感を感じた場合、直ちに本製品の使用を中止してください。休息しても改善しない場合や使用後すぐに違和感を感じる場合、使用時以外でも違和感が続く場合は、長時間の製品使用を避けるなどしてください。また必要に応じて医師にご相談ください。
- ・使用中は本体が熱を持つ場合があります、長時間ふれたままにすると低温火傷の原因となる場合がございますのでご注意ください。異常な発熱を感じた際は、直ちに使用を中止して接続している機器から取り外してください。

本製品で使用する電波について

本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の近くでは使用しないでください。下記の機器などは Bluetooth® と同じ電波の周波数帯を使用しており電波の干渉を発生する恐れがあります。

- ・電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

2.4GHz 帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- ・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。

良好な通信のために

- ・他の機器とは、見通し距離の良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- ・電気製品（AV 機器、OA 機器など）から 2m 以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので 3m 以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- ・無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- ・使用しないときは、本製品をパソコンから取り外しておくことをおすすめします。他の Bluetooth® 機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線 LAN 機器との電波干渉について

- ・IEEE802.11b/g/n の無線 LAN 機器と本製品などの Bluetooth® 機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ / ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

- ・テレビ / ラジオなどは Bluetooth® とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器を Bluetooth® 製品に近づけた場合は、本製品を含む Bluetooth® 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

- ・本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信内容を傍受される可能性もありますので、ご注意ください。

使用上のご注意

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。定期的にバックアップを取るなどの対策を予め行ってください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

安全上のご注意

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

危険

- 本製品はパソコンなどの一般的な OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。人命に直接関わる場所や医療機器、輸送機器などの高い信頼性が要求される用途や目的には使用しないでください。

警告

- 次のような異常が発生したときはそのまま使用したり、パソコンに接続しないでください。「煙が出ている、変な匂いがするなど異常があるとき」「内部に液体や金属物、異物が入ってしまったとき」「落下したり強い衝撃が加わったとき」「破損したとき」このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因になります。接続されている機器を取り外し、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 次のような使用しないでください。「本製品を分解、改造する」「水などの液体で濡らす」「本製品の上に物を置く」「調理台のそばなど油煙があたる場所、浴室等、湿気の多い場所で使用する」「コネクターに異物を挿入する」「濡れた手で設置や操作をする」これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。
- ケーブルを使用する際は下記のような使用はしないでください。「ケーブルに負荷をかけたり無理な力で巻く」「ケーブルのコネクターが正しく接続されていない状態で使用する」「ケーブルを接続したまま持ち運ぶ」これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。

図記号の意味

- 注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）
- 行為を禁止する記号（○の中や近くに禁止内容が描かれています。）
- 行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

注意

- 次のような場所に設置・放置しないでください。火災、感電、怪我の原因になることがあります。「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたる場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」
- 次のような場所で使用しないでください。火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたる場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」
- 下記の用法に従い正しくご使用ください。誤った使用は火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。
 - ・お手入れの際は、接続されている機器を取り外してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
 - ・長い間使用しない場合は、接続されている機器を取り外してください。
 - ・本書記載の動作環境内でご使用ください。
 - ・ケーブルは接続方向をよく確認の上、接続してください。
 - ・本書に記載されている以外の機器を接続しないでください。

キーボードに関するご注意

■ 本製品は英語 US ANSI 配列キーボードです

日本語 JIS 配列キーボードをお使いの場合、予め OS 側の設定変更が必要ですのでご使用前に必ずご確認ください。キーボードの配列設定変更については、「印字通りに正しく入力できない? (キーボードの配列設定)」をご覧ください。

■ LED の色について

LED の仕様上、「白色」と表現している箇所は、僅かに青みがかった白になります。

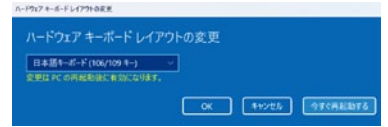
印字通りに正しく入力できない? (キーボードの配列設定)

現在使用しているキーボードや OS の設定によっては、本製品を接続してもキーの印字通りに入力できない場合がございます。(例: [Shift] + [8] を入力したら [*] では無く括弧弧が入力されるなど) 必要に応じてキーボードの配列設定変更を行ってください。詳しい設定方法はご使用の OS のヘルプを参照してください。

■ 例: Windows 11 の場合

1. Windows マークを右クリック→「設定」を表示
2. 「時刻と言語」を選択
3. 「言語と地域」を選択
4. 「言語」の「日本語」の「…」アイコンから「言語のオプション」を選択
5. キーボードの「キーボードレイアウト」から「レイアウトを変更する」を選択

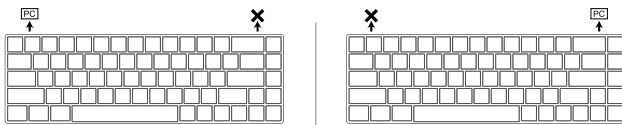
6. 「ハードウェアキーボードの変更レイアウトの設定」で使用するキーボード配列を選択して「今すぐ再起動する」を押して PC を再起動します。



(例: 日本語キーボード (106/109 キーボード) から本製品のような英語キーボードに変更する時は「英語キーボード (101/102 キーボード)」を選択します。)

キーボードの準備 (USB モード)

キーボード上部の USB-C ポート (左右 2 箇所) とパソコンの USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続します。



▲注意

本製品の USB ポートは排他接続です。左右いずれか一方のポートしか稼働しませんのでご注意ください。

💡HINT

Bluetooth モードで接続中に PC と USB ケーブルで接続すると自動的に USB モードに切り替わります。また、USB モードで接続中にチャンネルの切り替え操作を行うことで Bluetooth モードへの接続切り替えも可能です。

キーボードの準備 (Bluetooth モード)

■ キーボードを充電する

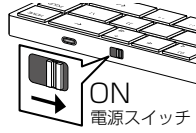
本製品の充電はパソコンと有線接続中に行われます。そのほか USB-A コネクターを搭載した USB 給電機器 (※) での充電にも対応しております。

完全充電まで:	約 3.5 時間 (※)
バッテリー駆動時間:	約 80 時間 (バックライトオフ時)

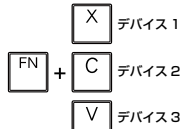
※本製品は急速充電には対応しておりません。

■ 機器の登録 (ペアリング)

1. キーボード背面の電源スイッチを ON にします。
2. 本製品は 3 つのデバイスチャンネルを使用して、3 台の機器とペアリングすることが可能です。
下記表の切替操作を長押し (約 4 秒) することでペアリングモードになります。ペアリングモード時は LED3 が点滅 (青色) した状態になります。



デバイスチャンネル	切替操作 (約 4 秒長押し)
デバイス 1 (MISTEL-1)	[FN] キー + [X] キー
デバイス 2 (MISTEL-2)	[FN] キー + [C] キー
デバイス 3 (MISTEL-3)	[FN] キー + [V] キー



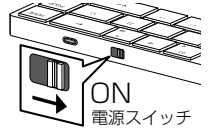
3. LED3 の点滅 (青色) を確認したら、接続先のデバイスで Bluetooth デバイスの検索を行い、手順 3 で選択したチャンネル (MISTEL-1 ~ 3) を登録してください。
ペアリングが完了すると LED3 の点滅 (青色) は終了します。

💡HINT

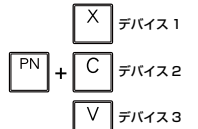
- ・途中パスコードが表示された場合は画面の指示に従って入力してください。
- ・正しくペアリングできない、ペアリング後の動作が不安定な場合は、一度デバイスを削除して再度機器の登録を行ってください。
- ・同じ PC で異なるデバイスチャンネルをペアリングすることはできません。

■ ペアリング済みの機器で使用する場合 (チャンネルの切り替え)

1. キーボード背面の電源スイッチを ON にします。
2. 下記表の切替操作を長押し (約 2 秒) することでチャンネルを切り替えることができます。チャンネルが切り替わる際に LED3 が 1 回点滅 (白色) します。
(接続確立まで時間がかかる場合がございます)



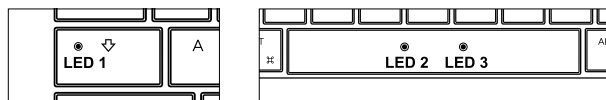
デバイスチャンネル	切替操作 (約 2 秒長押し)
デバイス 1 (MISTEL-1)	[PN] キー + [X] キー
デバイス 2 (MISTEL-2)	[PN] キー + [C] キー
デバイス 3 (MISTEL-3)	[PN] キー + [V] キー
USB モード	[FN] キー + [B] キー



💡HINT

Bluetooth モードで接続中に PC と USB ケーブルで接続すると自動的に USB モードに切り替わります。また、USB モードで接続中にチャンネルの切り替え操作を行うことで Bluetooth モードへの接続切り替えも可能です。

LED の動作について



① LED1

CapsLock のオン/オフを表示。CapsLock がオンの時に点灯 (白色) します。

② LED2

レイヤー/マクロ登録モードのステータスを表示または各種リセット動作を表示します。

本製品ではマクロ登録可能なレイヤーが 3 階層あります。本 LED は、現在どのレイヤーが選択されているかを点灯色で表示します。

LED 色	キーボードの動作
消灯	初期レイヤー選択状態
赤	レイヤー 1 選択状態
緑	レイヤー 2 選択状態
青	レイヤー 3 選択状態
白: 点灯	マクロ登録モード起動
白: 点滅	マクロ登録中 リセット操作中 [FN]/[PN] キーの位置変更モードの起動中

③ LED3

電源スイッチを ON にした時およびデバイスチャンネルの切替時に 1 回点滅 (白色) して、その後はキーボードバックライト LED の発光パターンで動作します。
その他、ペアリング時やバッテリーの状態を表示します。

LED 色	キーボードの動作
青: 点滅	ペアリングスタンバイ時 (LED は約 30 秒間点滅の後、消灯)
赤: 点滅	バッテリー残量: 少 (10 秒間隔で点滅)
黄: 点灯	充電中
緑: 点灯	充電完了
白: 点灯	[FN] / [PN] キーリマップモード時
白: 点滅	リセット操作中、LED 2 と一緒に 3 回点滅

左 [Windows] キーをロック／解除する

[FN] キー＋左 [Windows] キーを同時に2秒程度長押しすると、LED2 が1 回点滅（白色）して、左 [Windows] キーがロックされます。
ロックを解除する場合、再度上記操作を行ってください。

【FN】キー／【PN】キーについて

[FN] キーまたは [PN] キーと特定のキーを同時に押すことで、メディアプレーヤーの操作やキーボードの動作設定、レイヤー切り替え、LED の設定変更などが可能です。

例：電卓を起動する → [FN] キー＋ [Y] キーを同時に押す



■ [PN] キー操作一覧

キー操作	動作
[X] キー（2秒長押し）	Bluetooth デバイス 1 に切り替え
[C] キー（2秒長押し）	Bluetooth デバイス 2 に切り替え
[V] キー（2秒長押し）	Bluetooth デバイス 3 に切り替え
[Esc] キー	カラーパレットの表示
[1] キー	R（赤）カラー調整
[2] キー	G（緑）カラー調整
[3] キー	B（青）カラー調整
[4] キー	発光パターン切り替え
[5] キー	カスタムカラー編集モード
[6] キー	カスタムカラー発光モード
[O] キー	バックライトオフ
[↓] キー	バックライトを暗くする
[↑] キー	バックライトを明るくする
[.（カンマ）] キー	バックライトの変色を遅くする
[.（ピリオド）] キー	バックライトの変色を早くする

■ [FN] キー操作一覧

キー操作	動作
[1] キー～ [=（イコール）] キー	[F1] キー～ [F12] キーと同じ動作
[Esc] キー	`（バッククオート）
[Shift] キー＋ [Esc] キー	~（チルダ）
[Alt] キー＋ [Esc] キー	日本語配列の [半角／全角] キーと同じ動作
[Q] キー	前のトラック
[W] キー	再生／一時停止
[E] キー	次のトラック
[S] キー	音量上げる
[D] キー	音量下げる
[F] キー	ミュート
[P] キー	[PrtSc]（PrintScreen）キーと同じ動作
[[（左大括弧）] キー	[Scroll Lock] キーと同じ動作
[]（右大括弧）] キー	[Pause] キーと同じ動作
[;（セミicolon）] キー	[Insert] キーと同じ動作
[H] キー	[Home] キーと同じ動作
[N] キー	[End] キーと同じ動作
[I] キー	[↑] キーと同じ動作
[J] キー	[←] キーと同じ動作
[K] キー	[↓] キーと同じ動作
[L] キー	[→] キーと同じ動作
[Z] キー	[APP / Menu] キーと同じ動作
[X] キー（4秒長押し）	Bluetooth デバイス 1 とペアリング
[C] キー（4秒長押し）	Bluetooth デバイス 2 とペアリング
[V] キー（4秒長押し）	Bluetooth デバイス 3 とペアリング
[Y] キー	電卓を起動
[Backspace] キー	[Delete] キーと同じ動作
[M] キー	初期レイヤー（マクロ登録）
[.（カンマ）] キー	レイヤー 1（マクロ登録）
[.（ピリオド）] キー	レイヤー 2（マクロ登録）
[/（スラッシュ）] キー	レイヤー 3（マクロ登録）
[R] キー（長押し）	選択中のレイヤーを初期状態に戻す
左 [Windows] キー（長押し）	押す毎に左 [Windows] キーをロック／解除

【FN】／【PN】キーの位置を変更する（リマップ）

[FN] キー および [PN] キーを任意のキーに移動（リマップ）することができます。
[FN] キー および [PN] キーのリマップ後は、元の [FN] キーは [APP/Menu] キーとして、元の [PN] キーは [End] キーとして動作します。

⚠注意

- 左 [Shift] キーと右 [CTRL] キーの位置にはリマップできません。
- [FN] キーおよび [PN] キーは、同じレイヤー内にそれぞれ 1 箇所のみ設定可能です。
- [FN] キー や [PN] キーのリマップ先を忘れてしまった場合は、選択中のレイヤーをリセットして、再度リマップしてください。その際、選択中のレイヤーに登録されている全てのマクロ設定もリセットされますのでご注意ください。
- ペアリングやチャンネルの切り替えは元の [FN] ／ [PN] キーで行います。

■ リマップ手順

リマップする前に DIP スイッチ を全てオフにしてください。（参照：DIP スイッチについて）

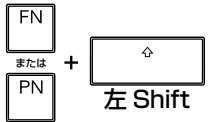
1. リマップするレイヤーを選択する

「マクロ機能／レイヤーの切り替えについて」を参照して、リマップするレイヤーを選択します。

2. リマップモードでリマップを行う

[FN] キーと 左 [Shift] キー または [PN] キーと 左 [Shift] キー を同時に長押しします。LED2 が点滅（白色）したらキーを離すと LED3（白色）と現在の [FN] キーと [PN] キーのバックライトが点灯（青色）します。

3. リマップしたいキー（バックライトが点灯（青色）している [FN] キーまたは [PN] キー）を押すと、リマップ先に設定可能なキーのバックライトが点灯（青色）するので、リマップ先に設定するキーを押すとキーの入れ替えが完了しリマップモードが終了します。



DIP スイッチについて



DIP スイッチの操作は必ずキーボードをパソコンから取り外した状態で行ってください。パソコンに接続したまま操作すると故障の原因になります。

本体底面にある DIP スイッチでは、特定のキーの機能を変更することが可能です。
スイッチを上（オン）にすることで機能が有効になります。
DIP2～4 のスイッチは複数オンにして使用することが可能です。
Windows や Mac などご利用の環境に応じて設定を変更してください。
※ 工場出荷時は全て OFF（スイッチが下）



例：DIP2 と 4 がオンの場合

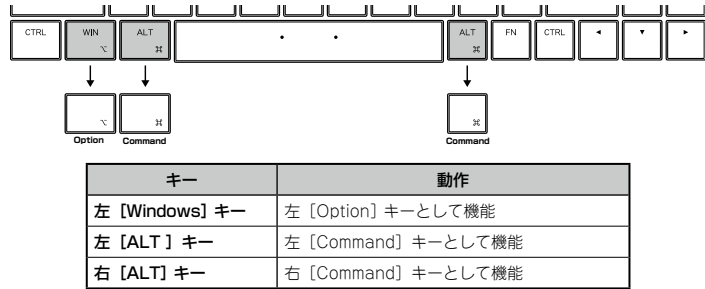
左 [CTRL] キー が [CapsLock] キーとして機能し、[CapsLock] キー が [FN] キーと入れ替わります。

macOS モードの動作（DIP1 が ON の時のキー動作）

MacOS のキーボード配置を再現するためにキーの動作を変更したモードです。

● [Option] キー／[Command] キー機能の追加

左 [Windows] キーと左 [ALT] キーが入れ替わり、[Option] キーと [Command] キーの機能が追加されます。



DIP No	DIP スイッチ OFF	DIP スイッチ ON
DIP1	macOS モード 無効 = Windows 用	macOS モード 有効
DIP2	左 [CTRL] キー	→ [CapsLock] キー として機能
	[CapsLock] キー	→ 左 [CTRL] キー として機能
DIP3	左 [ALT] キー	→ 左 [Windows] キー として機能
	左 [Windows] キー	→ 左 [ALT] キー として機能
DIP4	[FN] キー	→ [CapsLock] キー として機能
	[CapsLock] キー	→ [FN] キー として機能

● マルチメディアキー機能

[FN] キー と [ALT] キー と特定のキーを同時に押すことで下記の操作が可能になります。

例：ディスプレイ輝度を下げる場合→ [FN] + [ALT] + [1] を同時に押す

キー	動作	キー	動作
1	ディスプレイ輝度を下げる *1	7	前のトラックへ *3
2	ディスプレイ輝度を上げる *1	8	トラックの再生／一時停止 *3
3	Mission Control	9	次のトラックへ *3
4	LaunchPad	0	ミュート（消音）
5	本製品の RGB バックライト輝度を下げる *2	-（ハイフン）	音量を下げる
6	本製品の RGB バックライト輝度を上げる *2	=（イコール）	音量を上げる

※ 1：ラップトップ／ノート機種のみ機能します。外付けディスプレイでは動作しません。

※ 2：本製品のバックライトがオンの時に動作します。

※ 3：Apple Music などのメディアプレーヤーが起動中の時に動作します。

マクロ機能／レイヤーの切り替えについて

マクロ機能とは、任意のキーに任意の動作（マクロ）を割り当てることができる機能です。

例：[H] キーに [Space] キーの機能を割り当て

→ [H] キーを押した時に「H」が入力されず「Space」キーとして動作します。

マクロ機能では、複数のキーに設定されたマクロセットを 1 レイヤーとしてグループ化でき、仕事やゲームなど用途に応じてキーボードの機能や配列を使い分けることができます。レイヤーは初期のキーボード配列（＝初期レイヤー）とは別に最大 3 レイヤー登録することができます。



- 初期レイヤーにはマクロ登録はできません。
- [FN] キーおよび [PN] キーへのマクロ登録はできません。また、[PN] キーと同時に押することで動作する機能をマクロとして登録することはできません。

■ レイヤーの切り替え

下記のキー操作でマクロ登録するレイヤーを選択します。

選択レイヤー	切替操作	LED2 の状態
初期レイヤー	[FN] キー + [M] キー	消灯
レイヤー 1	[FN] キー + [, (カンマ)] キー	赤色 点灯
レイヤー 2	[FN] キー + [. (ピリオド)] キー	緑色 点灯
レイヤー 3	[FN] キー + [/ (スラッシュ)] キー	青色 点灯

■ マクロの登録手順

マクロを登録する前に DIP スイッチ を全てオフにしてください。（参照：DIP スイッチについて）

1. マクロを登録するレイヤーを選択する

前述「レイヤーの切り替え」を参照してマクロを登録するレイヤーを選択します。

2. マクロ登録モードを起動する

[FN] キー + 右 [CTRL] キー を押して離す→ LED2 が点灯（白色）して、マクロ登録モードが起動します。

3. マクロを登録するキーを押します

LED2 が点滅（白色）し、押したキーのバックライトが点灯（赤色）します。

4. マクロを登録します

登録したい内容（キー）を押します。
マクロ登録中のキーのバックライトが点滅（赤色）します。最後に [PN] を一度押すと LED2 が点灯（白色）して登録内容が保存されます。

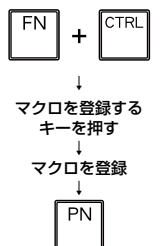
例：[L] キーを押した時に [P] キーとして動作するマクロを登録する場合は、手順 3 で [L] キーを押して手順 4 で [P] キーを押します。

5. 手順 3 と手順 4 を繰り返し、その他のキーにも登録します。

マクロ登録されているキーのバックライトが点灯（赤色）します。

6. マクロ登録モードを終了する

全ての登録が完了したら [FN] キー + 右 [CTRL] キー を押して離す→ LED2 が消灯してマクロ登録モードが終了します。



■ 登録済みのキーに別のマクロを登録する方法

手順 3 でマクロを変更したいキーを 2 回押します。

LED2 が点滅（白色）したら手順 4 に進みマクロを登録してください。

■ 登録されているマクロを消去（元のキーに戻す）する方法

手順 3 でバックライトが点灯（赤色）しているマクロ登録済みのキーの中から、マクロを消去するキーを 1 回押すとマクロが消去されバックライトが消灯します。

手順 6 の操作でマクロ登録モードが終了します。

RGB バックライトについて

[PN] キーと [4] キーを押す毎に、バックライトの発光パターンを下記表の点灯順に切り替えることができます。



■ 発光パターンの種類と順番

点灯順	発光パターン	カラー調整	スピード調整
1	全点灯モード	○	×
2	Breathing モード		○
3	Cycling モード	×	
4	Wave モード（初期設定）	○	
5	Rain drop モード	×	
6	Reactive モード		
7	Ripple モード		
8	Rotating モード		
9	Snake モード		
10	WASD・矢印／カスタムカラーモード（後述）	×	
11	無点灯（バックライト OFF）	—	—

△注意 バッテリー駆動時に 8 分程度キー入力が無いとバックライトは消灯し、キー入力を行うとバックライトは再度点灯します。（Bluetooth 接続されていない場合は 30 秒程で消灯します。）

■ バックライトの操作と設定変更

バックライトの操作と設定変更は [PN] キーと一部のキーを組み合わせで行います。キーの組み合わせ詳細は前述「[FN] キー／[PN] キーについて」の「[PN] キー操作一覧」を参照してください。

カラーパレット

[PN] キーと [ESC] キーを同時に押すとカラーパレット表示が表示されます。前述「発光パターンの種類と順番」の「1・全点灯モード」「2・Breathing モード」「10・カスタムカラーモード」で配色調整時に使用します。

カラー調整

前述「発光パターンの種類と順番」の「1・全点灯モード」「2・Breathing モード」で配色調整に使用します。下記記載の通りキーを 1 回押す毎に RGB の明るさが 1 段階明るくなります。（10 段階）

- ・[PN] キーと [1] キーを同時に押す = カラー配色調節（R 赤）
- ・[PN] キーと [2] キーを同時に押す = カラー配色調節（G 緑）
- ・[PN] キーと [3] キーを同時に押す = カラー配色調節（B 青）

輝度調整（消灯含む 11 段階）

- ・[PN] キーと [↓] キーを同時に押す毎に輝度が暗くなります。
- ・[PN] キーと [↑] キーを同時に押す毎に輝度が明るくなります。

速度調整（5 段階）

- ・[PN] キーと [.]（カンマ）キーを同時に押す毎に変色速度が遅くなります。
- ・[PN] キーと [.]（ピリオド）キーを同時に押す毎に変色速度が速くなります。

バックライトオフ（消灯）

[PN] キーと [0] キーを同時に押すと 前述「発光パターンの種類と順番」の「11・無点灯（バックライト OFF）」に切り替わります。

■ カスタムカラーについて

バックライトの配色を調整してレイヤー毎に割り当てたり保存することができます。ここで保存された配色は「10・WASD・矢印／カスタムカラーモード」で使用されます。[PN] キーと [6] キーを同時に押してカスタムカラーで発光させることも可能です。（カスタムカラー発光モード）カスタムカラーモードの初期点灯パターンは、WASD と矢印キーが点灯した状態です。

カスタムカラーの設定方法

1. 「マクロ機能／レイヤーの切り替えについて」を参照して、配色を変更したいレイヤーを選択します。
2. [PN] キーと [5] キーを同時に押してカスタムカラー編集モードを起動します。
3. カラー調整には 2 つの方法があります。
 - ・前述の「カラー調整」を参照して調整したい色（RGB）を選択する。
 - ・前述の「カラーパレット」を参照して調整したい色（RGB）を選択する。
4. 点灯調整したいキーを押すと手順 3 で選択した色が登録されます。キーを 1 回押すと選択された配色で点灯します。同じ配色で点灯させたいキーがある場合はそのまま点灯させたいキーを押してください。配色をやり直す場合は、再度キーを押して消灯状態にするが手順 3 の手順で再度色を選択した後、配色をやり直したいキーを押してください。
5. 配色設定が完了したら [PN] キーと [5] キーを同時に押してカスタムカラー編集モードを終了します。カスタムカラー編集モードが終了したら自動的にカスタムカラー発光モードになり、配色設定に従ってバックライトが点灯します。

リセット／工場出荷時の状態に戻す

△注意 ・リセット操作の前に「DIP スイッチについて」を参照して DIP スイッチ を全てオフにしてください。
・レイヤーを初期化すると、マクロ設定や [FN] ／ [PN] のリマップ設定、RGB バックライトの設定が全て工場出荷時の状態に戻ります。

■ 選択中のレイヤーをリセットする（初期レイヤーと同じ配列にする）

1. 「マクロ機能／レイヤーの切り替えについて」を参照して、リセットするレイヤーを選択します。
2. [FN] キーと [R] キーを LED 2 と LED 3 が 3 回点滅（白色）するまで、同時に長押しします。LED が消灯したらリセット完了です。

■ 全てのレイヤーを工場出荷時の状態にする

左 [ALT] キーと右 [ALT] キーを LED 2 と LED 3 が 3 回点滅（白色）するまで、同時に長押しします。LED が消灯したらリセット完了です。

リセット操作後は、本製品を一度パソコンから取り外し再度接続することをおすすめいたします。

ファームウェアの更新について

最新のファームウェアは製造メーカーサイトにて公開しております。

【ファームウェア ダウンロードページ】

URL <https://mistelkeyboard.com/support>



ファームウェアの更新は Windows PC のみ対応となります。macOS やその他 OS からの更新はできませんので予めご了承願います。

製品保証に関して

必ず「製品保証に関して」をよくお読みいただき、十分内容をご理解いただいた上でご使用ください。

困った時は？

製品のよくあるご質問について

製品についてよくあるご質問を紹介しています。

URL <https://faq.princeton.co.jp/>

製品情報や対応情報について

最新の製品情報や対応情報を紹介しています。

URL <https://www.princeton.co.jp/>

テクニカルサポート

Web からのお問い合わせ

URL <https://www.princeton.co.jp/support/contacts>

株式会社プリンストン テクニカルサポート

TEL 03-6670-6848 ※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。
受付：月曜日～金曜日の 9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

製品保証規定

保証期間：1 年保証

- お買い上げいただいた製品が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合に、本保証規定に従い無料にて故障の修理をいたします。
- 修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。
- 保証期間内であっても、次の場合には有償修理となります。
 - 1) ご購入履歴が確認できない場合。
 - 2) 本保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 3) 弊社もしくは弊社指定保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因する故障および損傷。
 - 4) 接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
 - 5) お買い上げ後の輸送や移動による落下、水などの液体こぼれ、水没等不適当なお取り扱い、または使用上の誤りにより生じた故障および損傷。
 - 6) 火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障および損傷。
 - 7) 寿命を有する部品や消耗品（バッテリー、乾電池等）の自然消耗、摩耗、劣化等による場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）
- 製品保証に関しての記載も併せてご覧ください。

保証書

製品型番：

ご購入日： 年 月 日 保証期間： 製品保証規定を参照

フリガナ

お客様名： 様

〒

住所：

電話番号： - - E-mail：

販売店名・住所・電話番号（販売店印）



PRINCETON

株式会社プリンストン

URL：<https://www.princeton.co.jp>

製品保証に関して

- 万一、正常な使用状態において製品のご購入から1年以内に製品が故障した場合は、弊社による故障の原因等の確認完了後、修理/製品交換対応させていただきます。なお、修理にて交換された本体および部品に関しての所有権は弊社に帰属するものといたします。
- 修理/製品交換の有償無償の判断につきましては、弊社または弊社指定の保守会社により行わせていただきます。
- 保証の対象となる部分は製品部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外とさせていただきます。
- 本製品の故障または使用によって生じた損害については、保証の範囲外となり、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 弊社は商品どうしの互換性問題やある特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な問題に関する正確性や完全性については、熟示的に明示的にもいかなる保証も行っておりません。互換性問題や特定用途での動作不良等により発生する障害、損害、損失等について一切の責任を負いません。
- 一度ご購入いただいた商品は、弊社にて商品自体の不良が確認されない限り、返品または交換はできません。対応機種間違いによる返品はできませんので予めご了承ください。
- 保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となり有償修理となります。
 - ご購入履歴が確認できない場合。
 - 保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 取扱説明書記載の動作条件ならびに機器設置環境を満足していない場合。
 - 弊社もしくは弊社指定の保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因した故障および損傷。
 - 設備、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷。
 - お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障および損傷。
- 保証期間内であっても、次の場合は無償/有償問わず一切の保証はありません。
 - 盗難された場合。
 - 紛失した場合。
- お買い上げ製品の故障もしくは動作不具合により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体・記憶装置に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容の消失、破損、変更等により生じる損害、逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、顧客からの信用喪失による損害、設備および財産の損害、設備等の交換費用、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用（人件費、交通費、復旧費）等、一切の損害につき弊社は、その責任を負いません。また、限定保証の明記がされていない場合であっても、弊社は、契約上または法律上の一切の責任を負いかねます。
- 弊社は、製品を運用・使用した結果生じるあらゆる影響につき、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 消費者契約法等により弊社が賠償責任を負うこととなる場合、弊社はお客様が購入された弊社製品などの価格相当額を超えて賠償責任を負うものではありません。

製品修理に関して

- 保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送料はお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご指定の場所にご送付させていただきます。
- 動作確認作業中および修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
- お客様に商品が到着した日から1週間以内に、お客様より弊社に対して初期不良の申請があった場合で、なおかつ弊社側の認定がなされた場合にのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その際はご購入時の梱包、箱、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
- 製造終了等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。
- お客様の認定、接続等のミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術料およびチェック料をいただく場合がございますので予めご了承ください。
- お客様の御都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料および運送料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。
- サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付いただいた場合で、症状の再現性が見られない場合、および製品仕様様の範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。

製品／お問い合わせに関して

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

Web からのお問い合わせ

URL <https://www.princeton.co.jp/support/contacts>

株式会社プリンストン テクニカルサポート

TEL 03-6670-6848 ※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。

受付：月曜日～金曜日の 9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）